

令和2年度

特別養護老人ホーム
岱山苑

事業報告書

令和2年度

岱山苑

ショートステイ

事業報告書

1. 特別養護老人ホーム岱山苑 事業報告要旨

・利用者の状況

令和2年度は、入所者平均年齢88.9歳、平均要介護度4.2（前年度4.1）。前年度以上に介護度、医療度が高い方の入所が増え、岡本外科医院への嘱託医変更もあった。

また新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、入所者・家族との関係づくりにより一層力を入れた1年であった。

新規入所は年間27件（前年度27件）で、月に平均2.2名が入所された。一方、退所は年間20件（前年度29件）のうち苑内での看取りは16名、入院治療中に亡くなられた方が4名だった。

平均在苑期間は3年2ヶ月。初盆供養対象者が31名となり開苑以降最もお別れが多い年となった。

入退院年間総件数は48件であり、入所者数月平均77.2名、年間充足率は平均96.5%（前年度95.4%）となった。

入所待機期間の短縮と空床日数を減らすよう早めの入所調整を図ったが、コロナ感染症対策による静養室使用による個室対応期間（5日間）と看取りによる静養室利用が重なる時もあり、調整しにくい時があった。

2. 主な取り組み

・感染症対策

家族の面会制限中は、電話や毎月のお便りに写真やメッセージのやり取りを行い、電話対応や静養室（個室）の活用（誕生会の開催など）により家族とのつながりの工夫を行った。

職員の感染症対策研修の実施。（オンライン）

・オンライン動画研修の導入に向けて

苑内研修（全職員による研修）の開催が新型コロナウイルス感染症により実施が困難となる。書類を配布し各自閲覧する形で対応していたが、パソコンや携帯を使用し、個人単位で動画を見ながらの研修を導入。

・行事関係

開苑40周年記念 広報誌たいざん発行

各町、ユニット単位での行事計画。（感染対策により）

数日に分け小規模での実施、苑庭での食事、焼き芋、兎町ガーデンの活用等。

3. 新たな課題

- ・人材育成とサービス、資質の向上。(介護マニュアル改正 R3.5/15 済)
- ・感染症、災害対策 (発生時の業務継続に向けて)